



SDGsへの取り組み

有限会社 ミヤケ工業

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



◆SDGs(エスディーゼーズ)(持続可能な開発目標)とは？

SDGs(エスディーゼーズ)(持続可能な開発目標)とは、2015年9月にニューヨークの国連本部で行われた国連サミットで、193カ国全会一致で採択された、全世界の人類が2030年までに達成すべき国際目標です。

持続可能な世界を実現するための17のゴールと169のターゲットから構成され、「誰一人取り残さない (leave no one behind)」を合言葉としています。

有限会社ミヤケ工業は、SDGsの理念に賛同し、石川県羽咋市で40数年の信頼と実績を持つ、階段製作、手すり製作などの金物工事事業、ものづくり事業を通じて、SDGsに貢献します。

■ 安心して生活できる環境や街づくりへの貢献

当社の事業において、最も多い割合を占める事業が、鉄鋼、ステンレス等の金物を使った比較的大型の建造物の非常階段をはじめとした螺旋階段、一般階段の製作事業です。

非常階段は、普段あまり人目につかず、また使用されることも少なく、一般的にその存在は私たちの生活にとって馴染みのないものなのかもしれません。

しかし、ここ数年我が国日本では地震や台風や豪雨など、人命にかかわるような自然災害に何度も見舞われています。そのような災害下において、一人でも多くの人に安全に避難して頂く存在となるのが非常階段です。また、非常階段はどんな災害においてもその強度を保ち、その存在を保ち続けなければなりません。

そのため、当社が製作する非常階段は、その強度にこだわっており、自然災害のリスクに備えた非常階段製作を心掛けております。特に、このような金物構造物づくりにおいて欠かせないのが『溶接』『板金加工』技術です。当社が金物構造物の製作に携わった30年間で培った溶接及び板金加工技術は、国内でもトップレベルであり、その技術により制作された非常階段は、無類の強度を誇るものと自負しております。

どのような災害が訪れても『安心して生活できる環境や街づくり』に少しでも貢献することが、当社の非常階段制作事業の使命でもあります。



9 産業と技術革新の基盤をつくろう



10 人や国の不平等をなくそう



■ 高齢化社会・介護問題に対するアクション

当社の第2の事業と言えるのが、同じく鉄鋼やステンレスを使用した“手すり”の制作です。これまで、老人ホームなどの福祉関連施設での制作・設置実績が多数ございます。

当社は、高齢者の方やハンディキャップをお持ちの方が、安心して暮らせる住環境の提供に貢献してまいります。

福祉関連施設で生活される利用者の方々がご持ちのハンディキャップも様々です。そのため、このような福祉関連施設を建設する際に、当社からは、構造・強度・サイズ・デザイン等を考慮し、その施設とその施設に関わる方々にとって最適な提案を行っています。

その施設を利用される方や、そこで働く方々など、関連するすべての人々の、利便性や快適さを考慮し、施設の利用スタイルに合わせた“手すり”の提案と、制作、設置を心掛けております。

日本における少子高齢化問題、介護現場の人員不足や労働環境の整備、また、ハンディキャップをお持ちの方やその仕事に従事する方々に対する、いわれのない差別の排除や、人権の保護などの社会課題の解決において、当社の事業を通して貢献できれば幸いに思います。



3 すべての人に健康と福祉を



16 平和と公正をすべての人に



■ 技術の継承と地元地域の雇用創出

当社がある石川県羽咋市は、いわゆる少子高齢化が著しく、また過疎化も急速に進んでいる地域です。過疎化の問題は羽咋市だけでなく、羽咋市が位置する能登地方全域の共通の課題であり、現段階においてその解決糸口は見えていません。

また、当社のような鉄鋼業・建設業等の業界は、働き手不足や若者の職業選択の多様化により、次世代への技術の承継が非常に困難な時代を迎えています。

当社がこの土地で事業を始めてもう40年になります。同じく創業者も、現在の代表者も、この石川県能登地方で生まれ育ちました。

ともに育ち、ともに成長してきた地元地域の衰退を防ぎたい

地方創生の一助を担える存在でありたい

その想いを少しでも実現するため、当社でも古くから地域に根差すものづくり企業として、これまで培った当社の独自の技術を承継することで、後進の育成を図り、ものづくり企業がもたらす社会的価値を伝えることで、地域の雇用と産業の活性化に取り組んでまいります。



8 働きがいも
経済成長も



■ ものづくり産業を支えるパートナーシップ

当社の行う鉄鋼業、建設業、ものづくり事業、そしてそれに付随した活動の数々は、当社だけではなく、構造材の提供者や設計者、総合建設事業者など、多くの関連事業者との協働や、同じ事業に携わる多くの人々とのパートナーシップによって支え合い、成り立っています。

そのパートナーシップにより、日本の“ものづくり産業”は、世界に誇れるトップクラスの技術を有し続け、世界中のものづくりインフラの基盤を担っていると言えるでしょう。

当社の強みの一つは「納期厳守」です。関連事業者と約束した納期を必ず守ることで、強固なパートナーシップ、そしてネットワークを構築してきました。

今後は、当社が40年培ってきた次世代へ伝えるべきスキルやノウハウと、パートナー企業から得られる新しい技術や情報を共有することで、日本が誇れるものづくりの力による持続可能な世界の実現に貢献してまいります。



17 パートナーシップで
目標を達成しよう



■ 能登の無形文化財「七尾豊年太鼓」を伝える活動

能登地方には、七尾豊年太鼓という指定無形文化財があります。

700年前から受け継がれてきたと言われる、この七尾豊年太鼓は、今でこそ「雨乞い」という目的で行われることはなくなりましたが、毎年能登の夏を彩る風物詩であり、その素朴な太鼓の音色は「ふる里の響き」そのものです。

しかし、当社の事業と同じく、七尾豊年太鼓も後継者不足により、太鼓の演奏者の高齢化も進み、その存続・保存に危機感を抱いています。

当社は、社外活動の一環として、七尾豊年太鼓をこれからも能登地方の伝統文化として残していく活動をしていきたいと考えております。それが、当社そして私たちをここまで育ててくれた、素晴らしい里山と伝統文化を残す、この能登へ向けた恩返しでもあります。



4 質の高い教育を
みんなに



The image features the text "SDGs" in large blue letters on the left and "ミヤケ" (Miyake) in large orange letters on the right. A large grey "X" is drawn over the center, crossing the two words. Surrounding the "X" are several colorful, 3D rectangular blocks in various colors (red, yellow, blue, green, orange, pink, purple) arranged in a circular pattern, suggesting a connection or intersection between the two concepts.

SDGs

ミヤケ

有限会社 ミヤケ工業

〒929-1576 石川県羽咋市鹿島路町2021

TEL 0767-24-1655

URL <http://www.tmyk-industry.com/>

